【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成19年12月13日(2007.12.13)

【公表番号】特表2007-511577(P2007-511577A)
【公表日】平成19年5月10日(2007.5.10)
【年通号数】公開・登録公報2007-017
【出願番号】特願2006-540363(P2006-540363)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/5375　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 265/32　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/14　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/5375
Ｃ０７Ｄ 265/32
Ａ６１Ｐ　25/14

【手続補正書】
【提出日】平成19年10月23日(2007.10.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
下肢静止不能症候群の処置のための医薬の製造における、（＋）－（２Ｓ，３Ｓ）－２－（３－クロロフェニル）－３，５，５－トリメチル－２－モルホリノールまたはその塩もしくは溶媒和物またはそれらの医薬組成物の使用。
【請求項２】
（＋）－（２Ｓ，３Ｓ）－２－（３－クロロフェニル）－３，５，５－トリメチル－２－モルホリノールまたはその塩もしくは溶媒和物がエナンチオマー的に純粋である、請求項１記載の使用。
【請求項３】
塩が（＋）－（２Ｓ，３Ｓ）－２－（３－クロロフェニル）－３，５，５－トリメチル－２－モルホリノール・塩酸塩である、請求項１または請求項２記載の使用。
【請求項４】
哺乳類において下肢静止不能症候群（ＲＬＳ）を処置するための医薬組成物であって、（＋）－（２Ｓ，３Ｓ）－２－（３－クロロフェニル）－３，５，５－トリメチル－２－モルホリノールまたはその塩もしくは溶媒和物および医薬上許容される担体を含有する、医薬組成物。
【請求項５】
（＋）－（２Ｓ，３Ｓ）－２－（３－クロロフェニル）－３，５，５－トリメチル－２－モルホリノールまたはその塩もしくは溶媒和物がエナンチオマー的に純粋である、請求項４記載の医薬組成物。
【請求項６】
塩が（＋）－（２Ｓ，３Ｓ）－２－（３－クロロフェニル）－３，５，５－トリメチル－２－モルホリノール・塩酸塩である、請求項４または請求項５記載の医薬組成物。
【請求項７】
周期性四肢運動障害の処置のための医薬の製造における、（＋）－（２Ｓ，３Ｓ）－２

－（３－クロロフェニル）－３，５，５－トリメチル－２－モルホリノールまたはその塩もしくは溶媒和物またはそれらの医薬組成物の使用。
【請求項８】
（＋）－（２Ｓ，３Ｓ）－２－（３－クロロフェニル）－３，５，５－トリメチル－２－モルホリノールまたはその塩もしくは溶媒和物がエナンチオマー的に純粋である、請求項７記載の使用。
【請求項９】
塩が（＋）－（２Ｓ，３Ｓ）－２－（３－クロロフェニル）－３，５，５－トリメチル－２－モルホリノール・塩酸塩である、請求項７または請求項８記載の使用。
【請求項１０】
哺乳類において周期性四肢運動障害（ＰＬＭＤ）を処置するための医薬組成物であって、（＋）－（２Ｓ，３Ｓ）－２－（３－クロロフェニル）－３，５，５－トリメチル－２－モルホリノールまたはその塩もしくは溶媒和物および医薬上許容される担体を含有する、医薬組成物。
【請求項１１】
（＋）－（２Ｓ，３Ｓ）－２－（３－クロロフェニル）－３，５，５－トリメチル－２－モルホリノールまたはその塩もしくは溶媒和物がエナンチオマー的に純粋である、請求項１０記載の医薬組成物。
【請求項１２】
塩が（＋）－（２Ｓ，３Ｓ）－２－（３－クロロフェニル）－３，５，５－トリメチル－２－モルホリノール・塩酸塩である、請求項１０または請求項１１記載の医薬組成物。